

Press Release

2019年6月17日

## DMG MORI SAILING TEAM Vendée Globe2020 参戦の新艇デザイン決定

DMG 森精機株式会社（以下、DMG 森精機）は、2018年10月30日に海洋冒険家の白石康次郎氏を迎え入れ、DMG MORI SAILING TEAM（以下、チーム）を発足させました。チームは、単独・無寄港・無補給の世界一周ヨットレース Vendée Globe2020（ヴァンデ・グローブ）（以下、本レース）への参戦を目指し、現在、フランス Multiplast 社にて最新艇を建造しており、2019年9月に完成予定です。

チームの新艇名である「DMG MORI Global One（グローバル・ワン）」号には、全世界の当社社員に加え、お客様、パートナー企業、関連会社、そしてチームとそのファンの皆様との心を一つにし、「Global One」の精神で、本レースに参戦するチームを応援できればという強い思いが込められています。新艇のデザインは、2002年より白石康次郎氏の参戦艇をデザインしてきた、株式会社エトルデザイン代表取締役の高山正樹氏が担当しました。最新艇では、DMG 森精機のブランドイメージに合わせ、白と黒を基調とし、荒波に耐え得る力強さと最新技術による速さ、そして DMG 森精機、チームに携わるすべての方々との結束が表現されています。また、本レースで待ち受ける困難をみんなで乗り越えていくというメッセージも込められています。

チームのスキッパー白石康次郎氏よりコメント

「私は、30年来の夢であった本レースへの参戦を、2016年にアジア人初として達成しました。初参戦・初完走が目標でしたが、残念ながらリタイアする結果となり、当初は悔しい気持ちでいっぱいでした。しかし、それを受け止め、乗り越え、再チャレンジすることを決意した瞬間から私は『敗者』から『挑戦者』に変わりました。この度、DMG 森精機と一緒にチームを発足し、本レースへ挑戦できることは、非常に光栄で嬉しく思います。チームのスローガンである「Global One」のもと、これ以上ない最高のチームで、世界一周を成し遂げます。応援よろしく申し上げます。」

新艇には DMG 森精機の最新鋭の同時5軸加工機並びに複合加工機を使用して加工された部品が搭載されています。DMG 森精機は、お客様に最先端の工作機械とソリューションをお届けするとともに「DMG MORI SAILING TEAM」の活動を通して、グローバルな製造業の発展に貢献して参ります。



DMG MORI Global One 号 (メインセールを開いた時のイメージ)  
“IMOCA60”艇 : 全長 60ft (18.28m)、幅 5.85m、マスト 28m

以上